７．研究構想図

《学校教育目標》

『一人ひとりが輝く河南っ子』の育成

～めざす児童の姿～

① 主体的に学習に取り組む子
② 数学的に思考判断し，表現しようとする子
③ 基礎・基本を身につけている子

研究主題　自ら学び，表現しようとする子の育成

～「わかる・できる」授業を積み重ねながら～

～組織的・継続的な研究推進の工夫～

① 「めざす授業」のイメージ化
- 授業の視点を明確にした授業参観シート、授業振り返りシートの活用
- 指導者と児童のめざす授業の共有化
- 校内研修、校外研修の充実
- ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくり

② 学力づくり部だよりの発行

授業研究の三本柱

課題の工夫

問い？を持たせる課題の提示
【学び１２＋②】

☆学習意欲を高める導入
☆ゴールの具体的な姿を想定した課題設定
☆見通しの持たせ方の工夫

学び合いの充実

考えを広げ深める
対話的な学び合いの充実
【学び１２＋①③④】

☆「聴く力」「話す力」「かく力」を高める工夫
☆多面的な思考を促す学習形態や学習方法の工夫
☆児童の思考を広げ，深める問い返しや価値付け

振り返りの充実

「わかった」「できた」「次はこれをやってみたい」等と実感できる活動の充実

☆ねらいと実態に合った適用問題の工夫
☆自己の変容や達成感の自覚化，次の課題への意欲化につながる振り返り

生徒指導の三機能が生きている学級づくり

～自己存在感のある学級～
自己肯定感の育成

～共感的理解のある学級～
仲間を尊重する力の育成

～自己決定のできる学級～
自律・自立の力の育成